

令和 3年度 行政評価事業別シート

	実計対象 <input checked="" type="checkbox"/>	評価対象 <input checked="" type="checkbox"/>	新規 <input type="checkbox"/>	完了事業 <input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業 <input type="checkbox"/>	担当者	寺澤勝志
	全体計画	平成30年度 ~ 令和 3年度	経費区分	実施計画事業費		内線	3628
事務事業名	10589 体育施設整備事業						
所 属	130500 社会共創部・文化スポーツ課						
施 策	14022000 スポーツ活動の充実						
予算科目	01 一般会計						
科目	100702 教育費・保健体育費・体育施設費						
事業	020000 体育施設整備事業						
事業目的				事業概要・効果			
市民が安全に体育施設を使用できるよう適切に管理する。				体育施設の経年劣化による大規模改修、利用の利便性向上等を進める。			

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 予定
柔剣道場耐震補強等工事設計 6,248千円 北部運恵王広場人工芝等工事測量、設計 990千円 体育センター耐震補強等工事 149,710千円 柔剣道場耐震補強等工事 45,760千円	北部運動広場人工芝等工事 178,145千円 柔剣道場耐震補強工事 繰越 98,285千円 " 設計監理 繰越 5,819千円
令和 4年度 予定	令和 5年度 予定
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定

指標名	無し					
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和 2年度 決 算	令和 3年度 予 算
事業費		202,708	180,000
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	196,800	0
	その他	4,525	173,000
一般財源		1,383	7,000
人員数(人)	正規職員	0.2	0.6
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	1,393.6	4,180.8
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	1,393.6	4,180.8
市民一人当たりの経費		3.9	3.5
総額		204,101.6	184,180.8

(単位：千円)

令和 2年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	7,238	測量設計委託料(柔剣道場設計6,248、北部運動広場人工芝等工事測量、設計990)
14節 工事請負費	195,470	勤労青少年体育センター耐震補強工事149,710、柔剣道場耐震補強工事45,760
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

(単位：千円)

令和 3年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	178,145	北部運動広場人工芝等工事
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	1,855	手数料30、備品購入費1,825

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	老朽化している施設の改修や代替え施設としての施設整備は必要である	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	施設の改修や代替え施設整備は、安全対策、利便性が高まり施設整備は有効である	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	やや向上
評価コメント	利便性が高まり施設の利用率が上がるのが予想される	

振り返り（決算年度の取組み課題）

避難場所として指定されている、勤労青少年体育センター及び柔剣道場（繰越事業により次年度竣工予定）は、それぞれ耐震補強工事を行い施設の利便性を高めることができた。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	進め方の改善（拡大）
総合評価コメント	
老朽化が進めなか体育施設の改修等の計画を作成し、財源等を検討し、実施計画に上げていく。	

2次評価

次年度以降の方向性	進め方の改善（拡大）
2次評価コメント	
施設整備は、防災の観点からも有効	

外部評価

次年度以降の方向性
外部評価コメント